

令和５年度 基本方針・重点目標

愛媛県立図書館

1 基本方針

愛媛県立図書館は、社会の変化に伴って高度・多様化する県民のニーズにこたえるため、「県民にとって役に立つ図書館」を目指し、県民の調査研究や課題解決等を支援するとともに、地域文化の発展に寄与することを目的とする。この目的を実現するため、多様な資料の収集に努め、県民への直接的なサービスと市町の図書館等への支援及び関係機関との連携・協力を通じて、すべての県民に図書館サービスを提供する。

2 重点目標

- (1) 図書館資料の整備とレファレンスサービス（調査・相談）の充実
 - ・図書館資料の館内利用や館外貸出において、利用者サービスの向上に努める。
 - ・県民の図書館としての機能・役割を果たすための図書館資料整備に努める。
 - ・課題解決支援機能の充実及び子ども読書活動の推進に必要な情報収集に努める。
 - ・県内の郷土資料・行政資料及び俳諧資料の網羅的な収集に努める。
 - ・レファレンスデータベースを構築し、サービスの効率化、高度化を図る。
- (2) 市町立図書館等への支援及び関係機関との連携・協力
 - ・市町立図書館等と連携し、県立図書館図書遠隔地返却サービスを実施するとともに、市町と県立図書館間の資料搬送支援を行う。
 - ・市町立図書館等に対し、蔵書の貸出しや講師の派遣等を通して支援を行うとともに、横断検索システムの円滑な運営に努める。
 - ・市町立図書館職員等の資質・能力の向上を図るため、研修機会の拡充に努める。
 - ・図書館未設置町に対し、出張貸出など必要な支援を行うとともに、図書館の設置に関して助言を行う。
- (3) 子どもの読書活動の推進
 - ・「愛媛県子ども読書活動推進計画（第四次）」に基づき、子どもの発達段階に応じた本との出会いを提供するとともに、地域における子ども読書活動のリーダー的人材の育成を目指す「子ども読書活動推進事業」を効果的に展開する。
 - ・学習支援用協力図書「まなぼん」を活用し、小・中・高等学校・中等教育学校及び特別支援学校における朝の読書や調べ学習等、子どもの読書機会の確保に努める。
 - ・子どもの読書に関する情報の収集・発信を行うとともに、関係機関との連携・協力を深めるなど、子ども読書支援センターとしての機能の充実に努める。
 - ・中高生向けのＹＡ（ヤングアダルト）コーナーの充実を図るとともに、ブックトークの実施、調べ学習用図書の貸出しやキャリア教育への協力など、学校図書館活動の支援に努める。
 - ・学校等と連携して学校図書館の環境整備支援を行い、子どもの読書活動の活性化を図るとともに、教職員や児童・生徒に対し図書館の活用講座等を行うことにより、情報リテラシー教育の支援に努める。
- (4) 課題解決支援機能及び広報の充実
 - ・ビジネス、医療・健康、子育て支援に関して、関係機関との連携・協力を図ることにより、情報コーナーの充実に努めるとともに、講座・相談会等を開催し、課題解決支援機能の強化を図る。
 - ・ホームページ・広報紙等による情報発信や報道機関の積極的な活用によって、県立図書館の機能・サービス内容・有用性等を広く県民にアピールし、図書館に対する理解と関心を高め、新たな利用者の拡大を図る。
- (5) 地域文化の発展に寄与
 - ・本県に係る歴史資料や俳諧資料等を積極的に展示し、県内外に郷土の歴史や文化を発信する。
 - ・原資料の劣化に備え、貴重な郷土資料のデジタル化を推進し、地域の記録の保存に努めるとともに、学校や県内外の地域研究等に広く提供する。

- ・各種講演会、講座、研究会を開催し、学習の機会を提供するとともに、県内外の関係機関との連携・協力を努め、地域文化の向上に資する。

(6) 図書館D X（Digital Transformation）化の推進

- ・「愛媛県デジタル総合戦略（令和5年3月改定）」に基づき、郷土資料の電子化、レファレンスデータベースの構築を充実させる。
- ・デジタル技術の活用による市町図書館及び学校支援、図書館システムの活用による更なる利便性の向上に取り組む。
- ・電子書籍や図書館のデジタル戦略に関して先進県及び県内の動向を研究し、導入に向けて検討を行う。